

令和 7 年度大阪府外国人患者 受入れ実態調査

結果の概要について（病院）

- I 調査の概要
- II 調査結果の概要

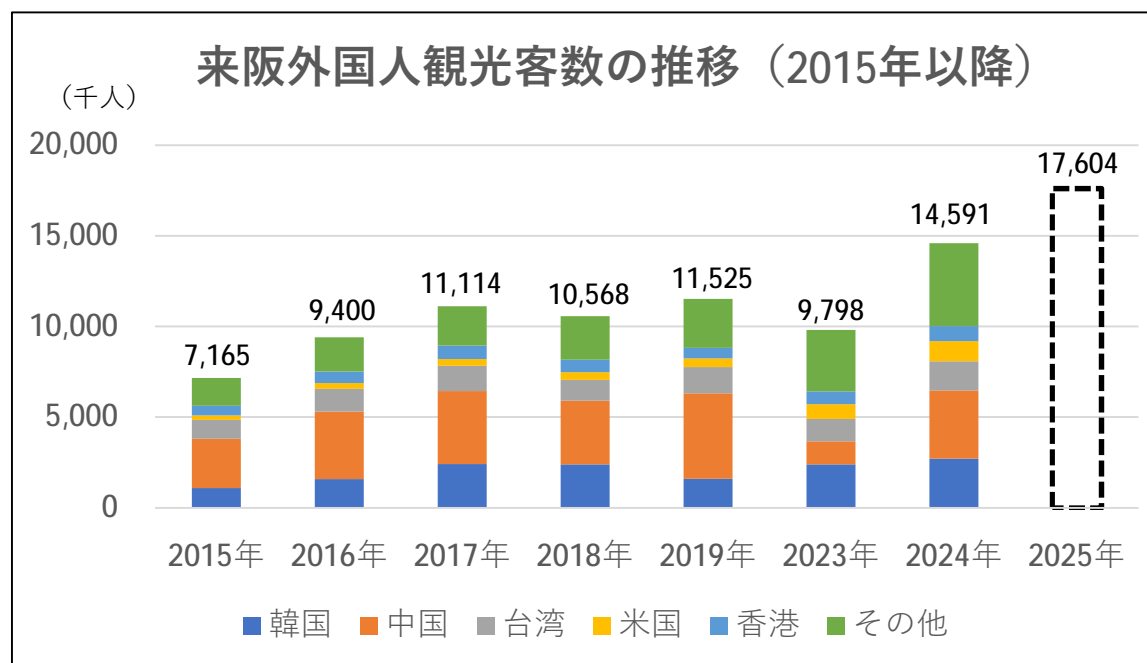
I 調査の概要

1 調査の目的

大阪観光局の発表によると、**2025年の年間（1～12月）の来阪インバウンド数（推計値）**は、過去最高の**1,760万4,000人（前年比21%増）**だったと発表した。国・地域別では、中国は**2025年12月度に17万6,000人（45%減）**となったが、年間ベースでは**522万5,000人（39%増）**と大幅に増加しており、香港を除くほとんどの国・地域でも**2024年を上回っており**、引き続き来阪外国人観光客数は高水準を維持することが見込まれる。

加えて、府内の在留外国人についても、近年はアジア地域の新興国を中心に外国人材の受入れが拡大しており、令和7年6月末時点で約**36万人**と過去最高を記録している。

こうした来阪・在留外国人の傾向を踏まえ、府の外国人患者受入体制整備に向けた基礎資料として活用するため、外国人患者の受入れ状況について、大阪府内の全病院（**501病院**）及び外国人患者受入れ医療機関として厚労省リストに掲載されている**267の診療所**の計**768医療機関**の医療機関を対象に府独自の実態調査及び分析を行うことといたしました。



【資料】日本政府観光局〈JNTO〉「訪日外客数」、観光庁「訪日外国人消費動向調査」による推計値
注) 2020年～2022年については、新型コロナ拡大の影響によるデータ不足のため推計を行っていない

2 調査の方法及び調査結果

府内**768**医療機関にアンケートにより調査を行った。

(※調査期間 令和7年**12月19日**～令和8年1月**16日**まで)

- ・調査方法：大阪府行政オンラインシステムを利用
- ・調査対象：大阪府内の**768**医療機関

全病院：**501**件

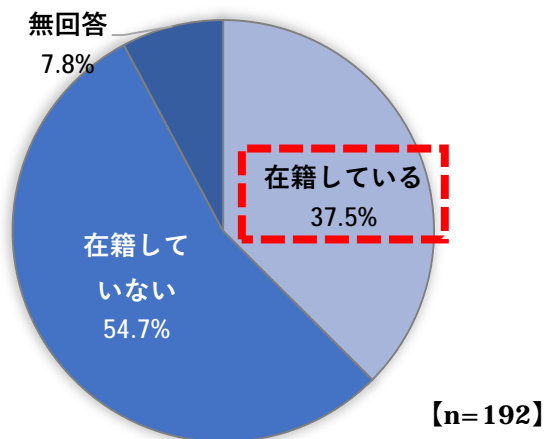
外国人患者受入れ医療機関として厚労省リストに掲載されている診療所：**267**件

調査票	配布件数	回収件数	回収率
令和7年度大阪府外国人患者受入れ実態調査	768件	285件	37.1%
内 病院のみ	501件	192件	38.3%
内 診療所及び歯科診療所のみ	267件	93件	34.8%

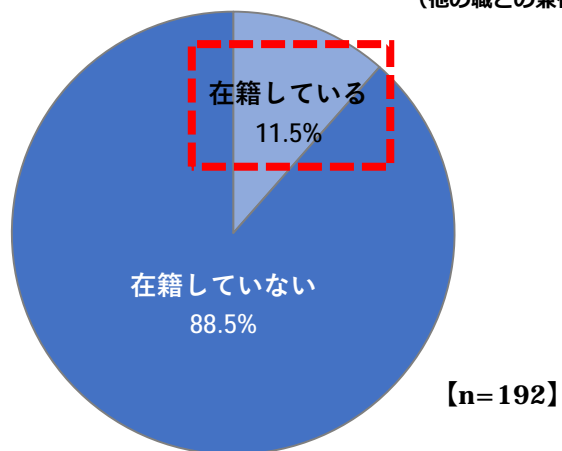
II 調査結果の概要

アンケート調査 調査結果

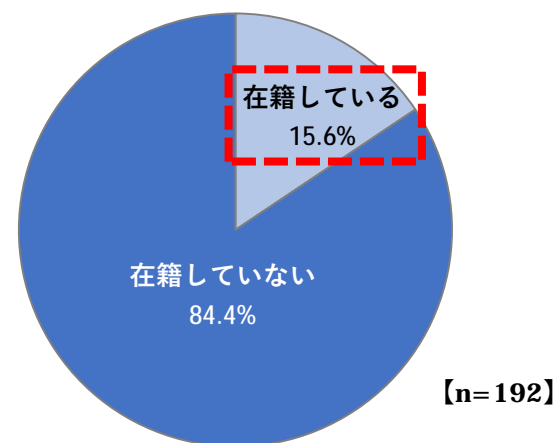
◆外国人患者対応を行う職員 (他の職との兼任も含む)



◆外国人患者受入れ医療コーディネーター (他の職との兼任も含む)



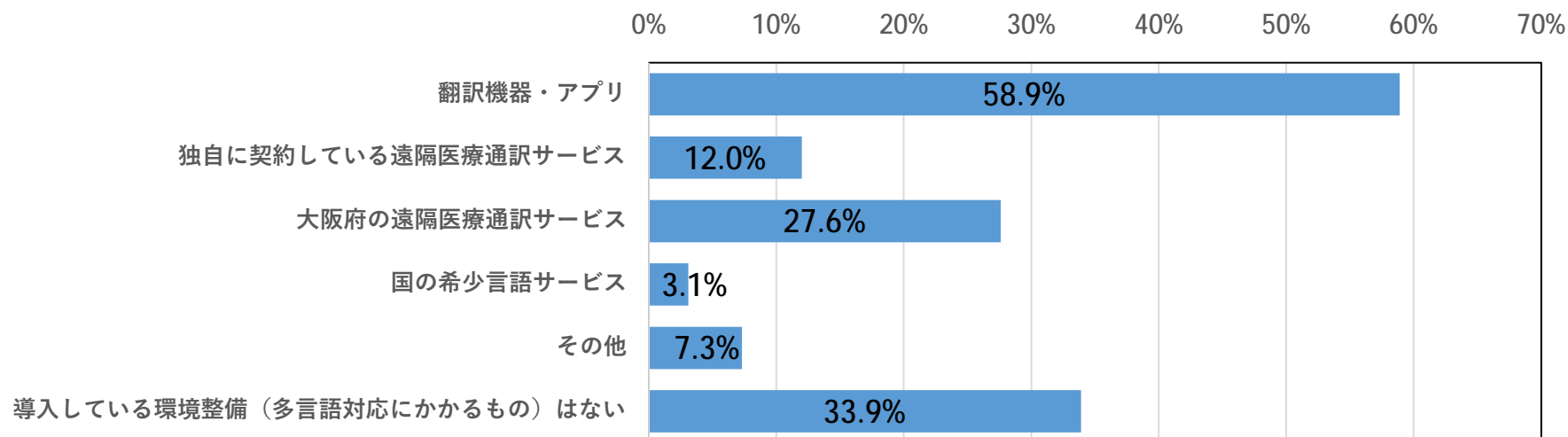
◆医療通訳 (他の職との兼任も含む)



アンケート調査 調査結果

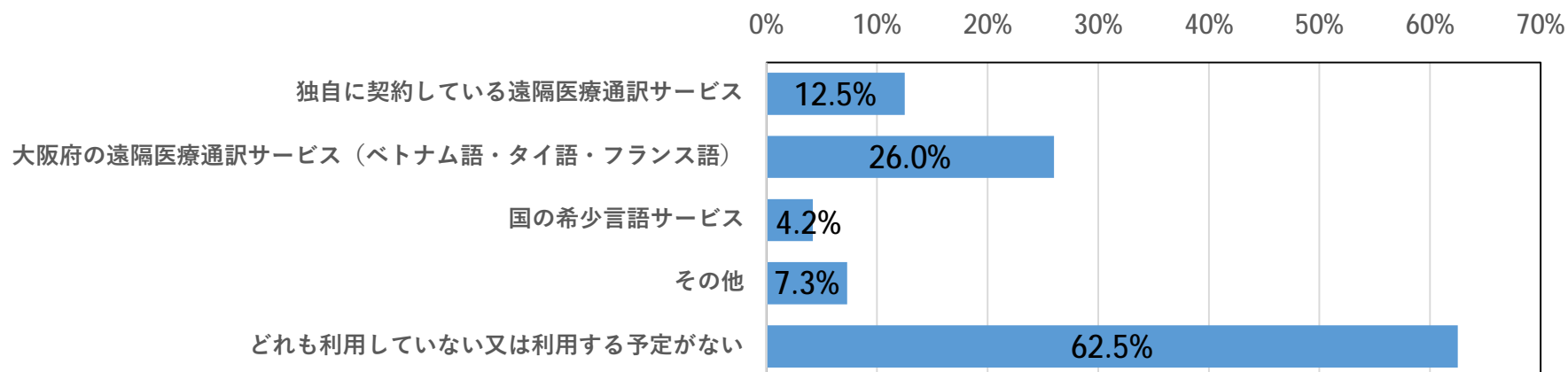
◆外国人患者対応を行うために導入している環境整備（多言語対応にかかるもの） ※複数回答可

【n=192】



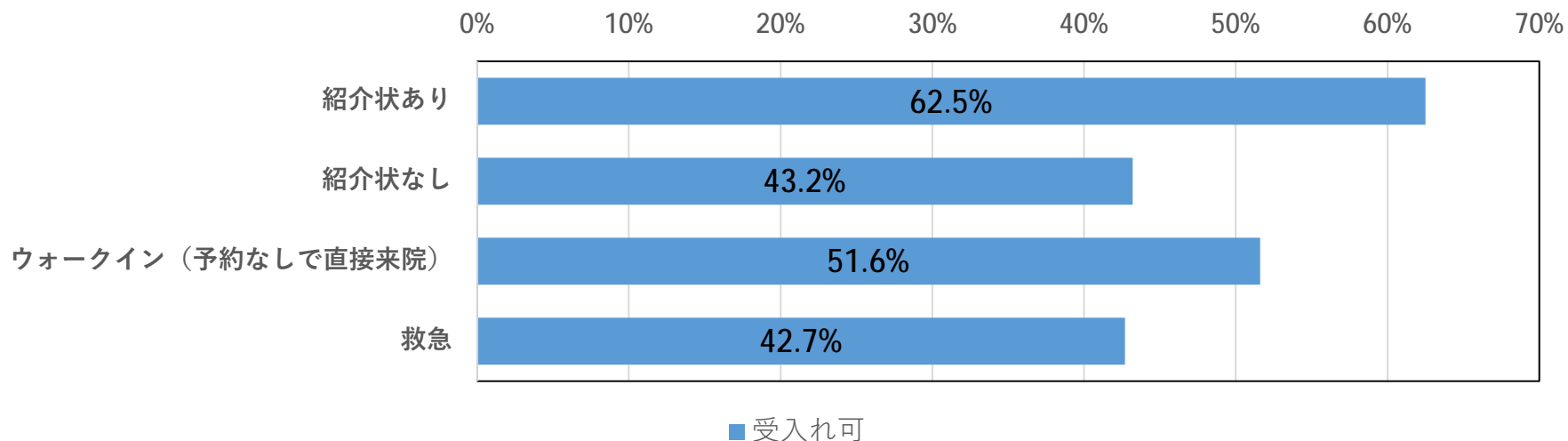
◆希少言語※への対応を行う際、利用している医療通訳サービス（予定含む） ※複数回答可 【n=192】

※希少言語：英語・中国語・韓国語・スペイン語・ポルトガル語以外の言語を指す。



アンケート調査 調査結果

◆外国人患者受入れ可否 ※複数回答可 【n=146】



◆令和7年9月1日～9月30日の間に外国人患者を受入れた医療機関

病院	104 医療機関 / 192 医療機関
診療所及び歯科診療所	70 医療機関 / 93 医療機関

アンケート調査 調査結果

◆国別外国人患者数（令和7年9月1日～9月30日）

	区分	在留外国人患者 【n=89】		訪日外国人患者 【n=42】		合計
		外来患者延数	入院患者数	外来患者延数	入院患者数	
アジア	韓国	978人	59人	27人	1人	1,065人
	中国	2,422人	140人	136人	3人	2,701人
	台湾	88人	5人	18人	0人	111人
	タイ	63人	4人	7人	0人	74人
	シンガポール	7人	0人	3人	0人	10人
	マレーシア	9人	1人	6人	1人	17人
	フィリピン	272人	14人	12人	1人	299人
	ベトナム	1,474人	111人	10人	0人	1,595人
	ネパール	392人	39人	2人	0人	433人
ヨーロッパ	英国	40人	3人	11人	1人	55人
	フランス	31人	2人	9人	1人	43人
	ドイツ	6人	0人	26人	0人	32人
	イタリア	18人	1人	6人	1人	26人
	ロシア	16人	1人	5人	0人	22人
	スペイン	16人	0人	4人	1人	21人
北米	アメリカ	187人	5人	51人	4人	247人
	カナダ	33人	0人	10人	0人	43人
	その他	1,094人	75人	117人	7人	1,293人
	不明	2,166人	129人	74人	1人	2,370人
	合計	9,312人	589人	534人	22人	10,457人

アンケート調査 調査結果

◆外国人患者の医療保険加入状況（令和7年9月1日～9月30日）

【n=82】

区 分	在留外国人患者	訪日外国人患者	合 計
公的保険※1	8,940人	43人	8,983人
民間保険※2	20人	25人	45人
公的+民間保険 (A)	8,960人	68人	9,028人
保険加入率 (A / (C - B))	96.9%	35.4%	95.6%
無保険	290人	124人	414人
不 明 (B)	244人	336人	580人
合 計 (C)	9,494人	528人	10,022人

※1：例）国民健康保険・被用者保険など

※2：例）海外旅行保険など

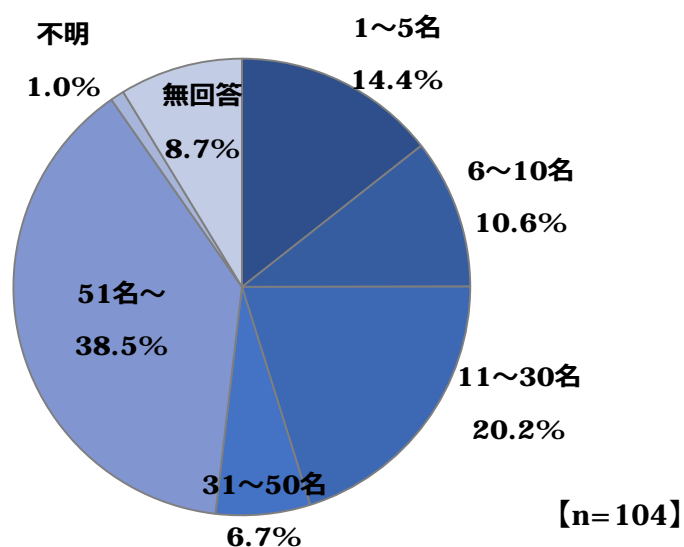
アンケート調査 調査結果

◆直近会計年度（前年度1年間）で未収金が発生した医療機関

	外国人患者	内 在留外国人	内 訪日外国人	(参考) 日本人患者+ 外国人患者	(参考) 調査回収件数
未収金発生医療機関 【n=285】	51医療機関 (17.9%)	47医療機関 (16.5%)	25医療機関 (8.8%)	114医療機関 (40.0%)	285医療機関
内 病院のみ 【n=192】	43医療機関 (22.4%)	40医療機関 (20.8%)	18医療機関 (9.4%)	101医療機関 (52.6%)	192医療機関
内 診療所及び 歯科診療所のみ 【n=93】	8医療機関 (8.6%)	7医療機関 (7.5%)	7医療機関 (7.5%)	13医療機関 (14.0%)	93医療機関

アンケート調査 調査結果

◆令和7年9月1日～9月30日の期間に受け入れた**在留外国人患者**



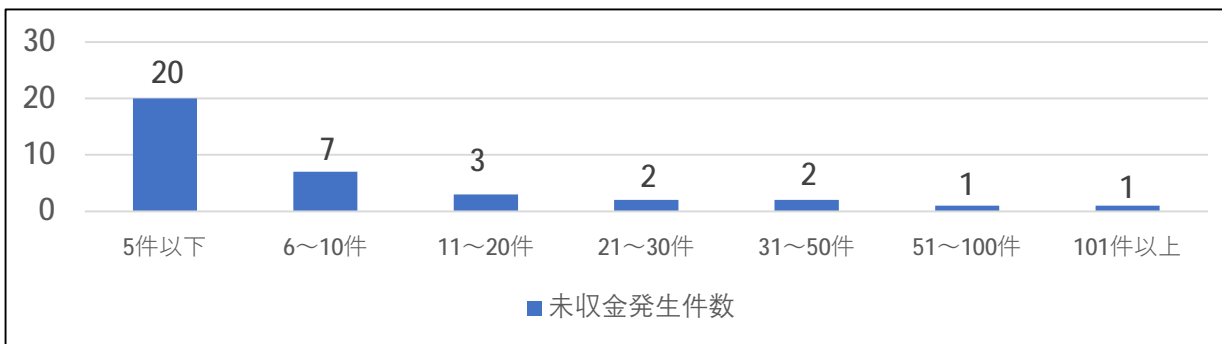
◆直近会計年度（前年度1年間）の在留外国人患者による未収金の詳細

	合計	(n = 40)
未収金発生件数	447件	
未収金総額	21,747,791円	

アンケート調査 調査結果

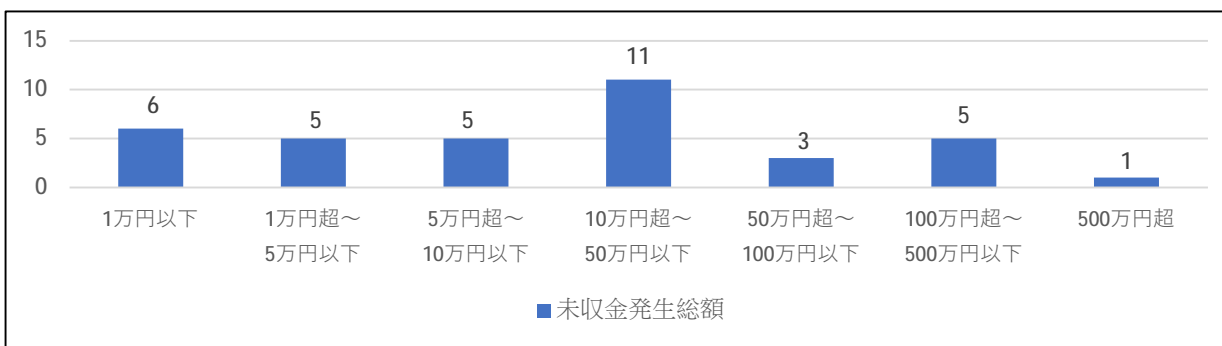
◆直近会計年度（前年度1年間）の在留外国人患者による未収金の詳細（病院のみ）

未収金発生件数と病院数



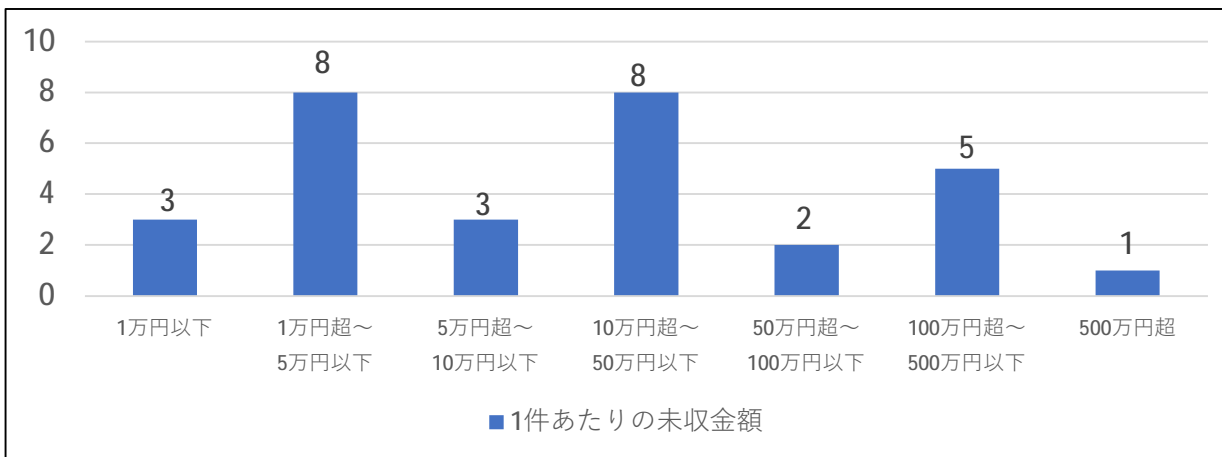
平均：12件 (n = 36)
中央値：5件
最大値：107件

未収金発生総額と病院数



平均：604,105円 (n = 36)
中央値：117,295円
最大値：8,483,530円

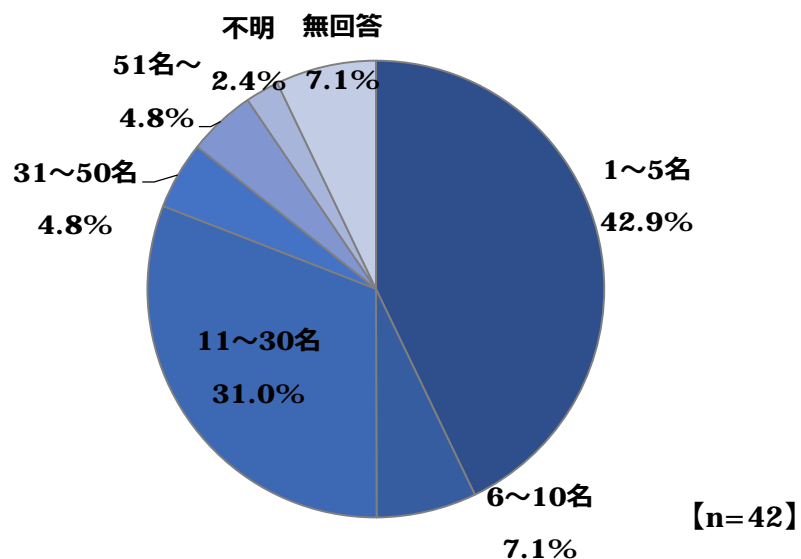
過去3か年の1件あたりの最高額



平均：620,189円 (n = 30)
中央値：107,157円
最大値：5,035,041円

アンケート調査 調査結果

◆令和7年9月1日～9月30日の期間に受け入れた訪日外国人患者



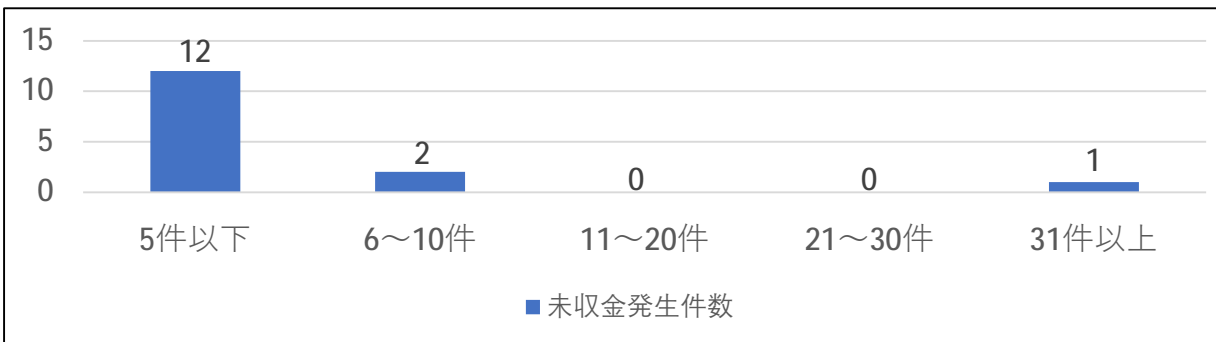
◆直近会計年度（前年度1年間）の訪日外国人患者による未収金の詳細

	合計	(n=18)
未収金発生件数	64件	
未収金総額	71,941,255円	

アンケート調査 調査結果

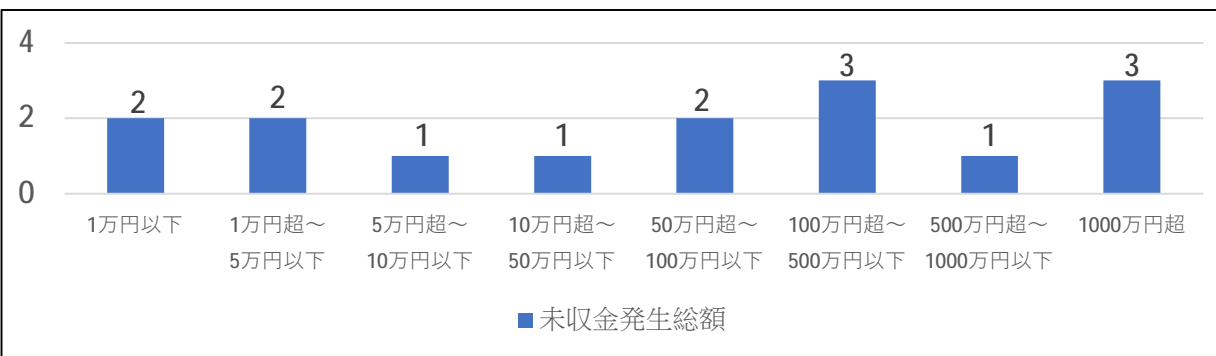
◆直近会計年度（前年度1年間）の訪日外国人患者による未収金の詳細（病院のみ）

未収金発生件数と病院数



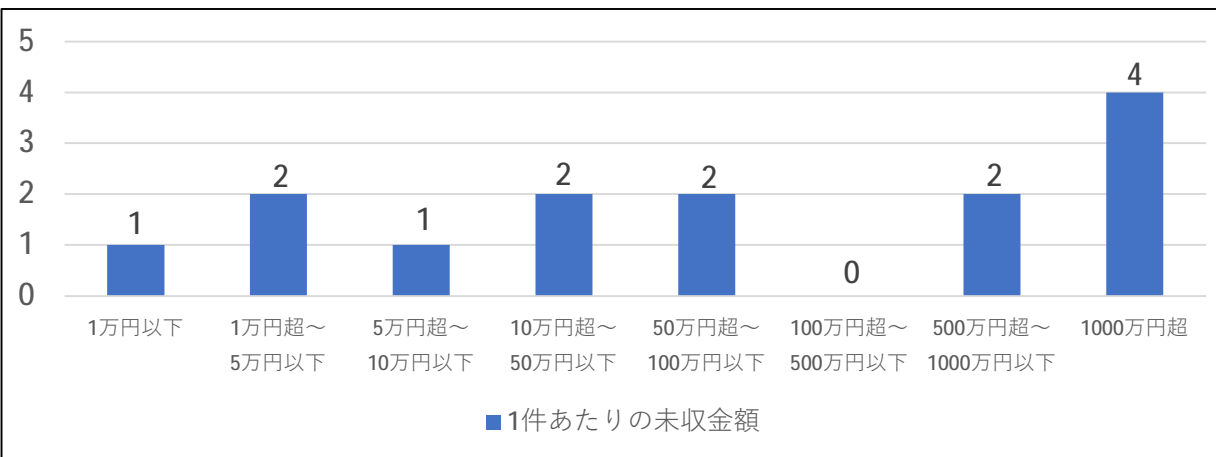
平均：4件 (n = 15)
中央値：1件
最大値：31件

未収金発生総額と病院数



平均：4,796,084円 (n = 15)
中央値：840,356円
最大値：25,342,024円

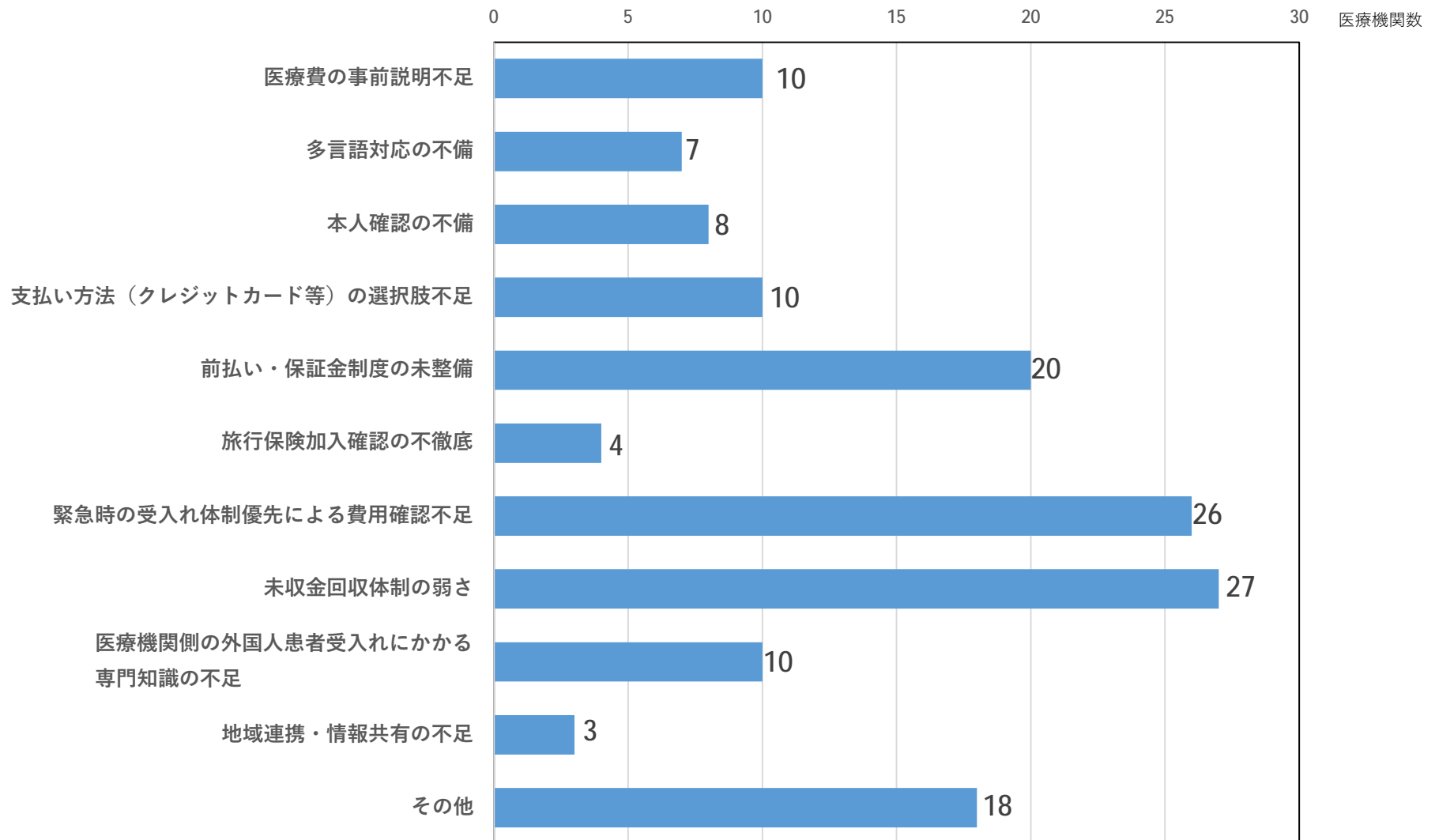
過去3か年の1件あたりの最高額



平均：6,061,280円 (n = 14)
中央値：744,513円
最大値：20,431,620円

アンケート調査 調査結果

◆（外国人患者に限る）貴院における未収金の発生要因として考えられる理由（最大3つ）【n=101】

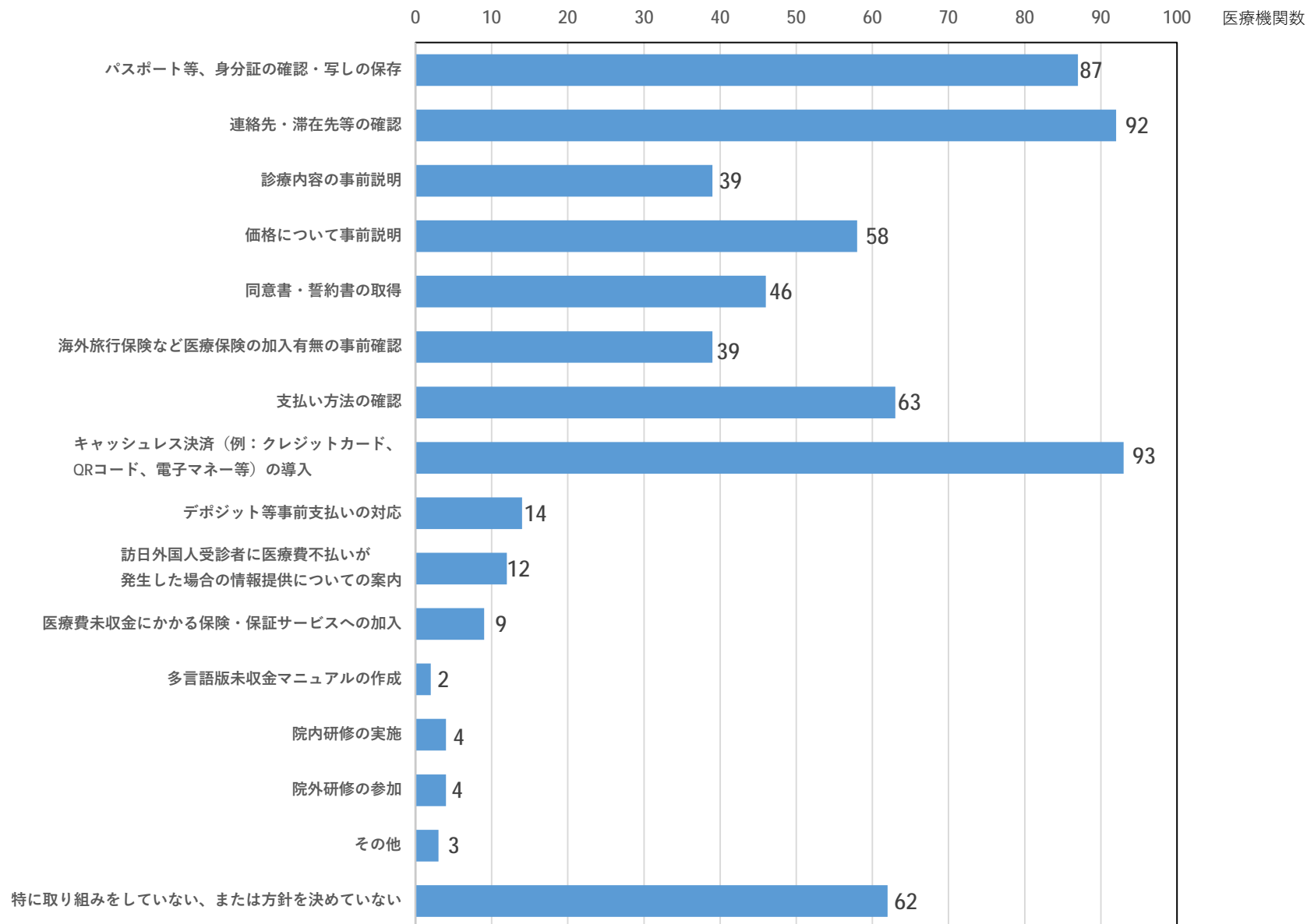


アンケート調査 調査結果

◆実施している未収金対策

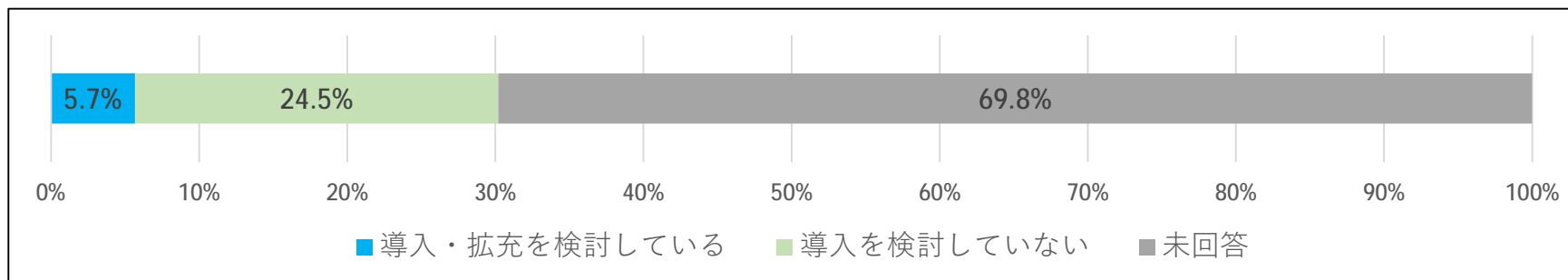
※複数回答可

【n=192】



アンケート調査 調査結果

- ◆ 「キャッシュレス決済（例：クレジットカード、QRコード、電子マネー等）の導入」を実施していないまたは、既に導入済だが今後拡充を検討している医療機関 【n=192】



<導入を検討していない理由>

- ・コストがかかるため。システムが複雑なため。
- ・必要性を感じていないため。

- ◆ 「医療費未収金にかかる保険・保証サービスへの加入」を実施していない医療機関 【n=183】



<加入を検討しているサービス>

- ・入院医療費保証サービス、連帯保証人代行サービス、医療ツーリズム会社との契約

<加入を検討していない理由>

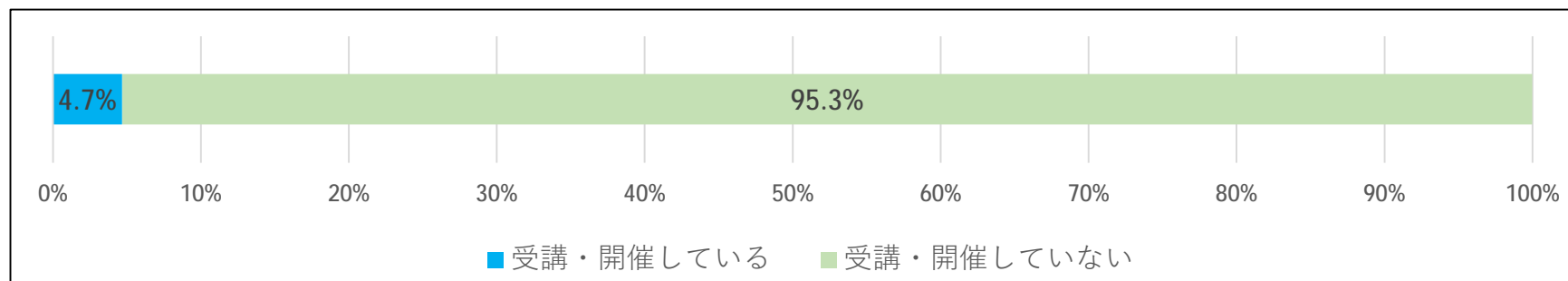
- ・コストがかかるため。費用対効果がないため。
- ・医療機関が保険料を支払わなければならないため。
- ・未収金の発生がない又は少額のため必要性をあまり感じない。

アンケート調査 調査結果

◆未収金対応にかかる研修について

外国人患者の医療費未収金対応について、これまでに「民間団体等が実施している研修・通信講座等を受講」もしくは「外部講師を招いて院内研修を開催」しているか。

【n=192】



<受講・開催している場合の具体的な研修等の内容>

- ・外国人患者受入れ医療コーディネーター養成研修の受講
- ・外部企業による講座の受講
- ・国際臨床医学会での発表の聴講
- ・グループ病院本部主催「未収金勉強会」月1回開催
- ・他院の体制紹介や事例紹介（海外民間保険の請求対応に関する事例紹介、未収金防止のための事務手続きなど）

今後、大阪府内の医療機関スタッフを対象とした外国人患者の未収金対応にかかる研修が行われる場合、参加を希望するか。

【n=192】

